

平成19年度 豊島区公社等外郭団体経営評価表

1	名称	社団法人 豊島区シルバー人材センター			所管課	保健福祉部高齢者福祉課		
設立月日	昭和51. 10. 20	基本財産	千円		所在地	豊島区東池袋2-55-6		
代表者	村田 計義	区出資率	%		電話	03-3982-9533		
設立目的	一般雇用にはなじまないが、働く意欲を持っている健康な高齢者のために、地域社会と連携を保ちながら、その知識、経験及び希望に沿った就業機会を確保し、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力のある地域社会づくりに寄与することを目的としている。		顧客(サービス対象)	高齢者・発注者				
			事業内容	高齢者に対する以下①～⑦ ①情報の収集と提供 ②調査・研究・相談 ③就業機械の拡充と提供 ④人材確保と会員研修 ⑤安全就業 ⑥社会奉仕活動 ⑦会員組織の活動				
		項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	備考
財務状況	分析指標	収入	千円	848,206	791,556	839,765		
		支出	千円	829,885	777,204	809,974		
		資産	千円	216,377	202,733	179,790		
		負債	千円	90,188	95,849	89,852		
		正味財産	千円	126,190	106,883	89,938		
		管理費比率	%	11.0	12.5	12.5		
		人件費比率	%	7.5	9.3	8.2		
		収入に占める区補助金割合	%	4.4	4.5	4.2		
		受益者負担比率	%					
		職員一人当たり事業収入	千円	73,740	50,158	63,334		
組織状況	内訳	総職員数	人	32	32	36	33	
		役員数	人	22	22	22	22	
		常勤職員数	人	7	7	6	5	
		(うち 区派遣職員数)	人	0	0	0	0	
		非常勤職員数	人	1	1	3	4	
		臨時職員数	人	2	2	5	2	
※事務局長は「役員」と「常勤職員」の両方に入れている。								
組織に対する団体の自己評価								
	設問数	「はい」の数	「いいえ」の数		設問数	「はい」の数	「いいえ」の数	
I 計画性	5問	5	0	III 組織の健全性	4問	4	0	
II 成果志向性	5問	5	0	IV 効率性	6問	6	0	
事業分析	指標	具体的な内容	単位	16年度	17年度	18年度	目標	
							目標値	年度
	会員数	年度末会員数	人	1,412	1,362	1,316	1,570	19
	受託件数	年間延べ受託件数	件	7,483	7,801	8,086	前年度以上	19
	就業率	会員数÷就業者数	%	78.9	78.7	80.9	前年度以上	19
	受託契約金額	公共事業・民間事業	千円	737,399	702,215	696,673	702,360	19
配分金	会員に対する配分金	千円	676,072	646,142	638,572	648,000	19	

一次評価(公社等の外郭団体)

分析表Ⅰ(組織分析)	分析表Ⅱ(事業分析)	分析表Ⅲ(財務分析)
事務局組織及び会員就業形態の効率化を目標に平成18年度から22年度までを期間とする発展計画を策定し、今年度が2年目に当る。 会員、役職員一体となった組織全体での意識改革を行い、職群班と地域班の整備を進めていきたいと考えている。 職員については研修派遣を行い、他区センターとの情報の交換を図る。	平成18年度は、区の行政改革の影響を受け、公共の受注が17%(5,500万円減)となった。その反面、チラシ等による営業活動を積極的に行ったため民間受注においては13%(4,700万円増)となった。 今後は民間受注の拡大を努めていくと同時に、区の公共事業を受注できる体制を整えていきたいと考えている。	区補助金依存度も年々低下している。そのような厳しい財政状況の中、会費の改定やコストの削減をするなどの財政改革に着手し、経営の健全化に努めた。

総合評価
 国・都・区の行政改革の影響などセンターを取り巻く環境は大変厳しい状況である。会員、役職員一体となった組織全体での意識改革に合わせ、広域的な立場からの努力が必要である。今後とも新しい視点と発想をもって、就業開拓や自主事業の開発に取り組むとともに、経営の健全化をはたしつつシルバー事業の発展に邁進する。

二次評価(所管課)

分析表Ⅰ(組織分析)	分析表Ⅱ(事業分析)	分析表Ⅲ(財務分析)
17・18年度と引続き常勤職員を削減し、非常勤職員で欠員補充をおこなっており努力の跡が見受けられる。 今後は年齢のバランスを考慮した職員構成へとシフトしていく必要がある。	会員の減少傾向及び公共事業の受注の減少にも関わらず、就業率・配分金は増加しており、民間受注拡大の成果が窺える。	全事業に占める区受託事業の割合の減少や人件費に占める補助金の割合の低下など、区への依存度が低くなっており経営健全化が進められている。

総合評価
 指定管理者制度の導入により公共事業の受注の減少を受け17年度は受託契約金額が対前年比で4.8%減となったが、民間事業の開拓により18年度は0.2%の減まで回復しており、経営努力が窺える。ただし、高齢者人口が増加しているにも関わらず会員数は減少傾向にある。
 今後は受注先の開拓とともに会員の確保と需用に応じられるし質の向上が課題である。

三次評価

総合評価
 高齢者が「自分は社会の一員として役立っている」という実感を持ちながら暮らせるという意味では「シルバー人材センター」の存在は、今後ますます意義あるものとなっていくと思われる。一般雇用になじまない、就業意欲のある健康な高齢者に対する就労機会の確保という観点からすれば、民間市場を圧迫しない範囲において積極的に取り組むべきと考えられる。一方、現在進められつつある公益法人制度改革において、公益法人たる社団法人に対してより「公益性」が強く求められる見通しであることを考慮すると、さらに「公益性」に重点を置いて事業を転換させる必要がある。すなわち、会員の枠を超えた対象について、他のシルバー人材センターと横並びではなく独自に積極的な「公益事業」を展開するなど、より「公益性」を高めていく努力が求められる。そのためには、公益事業を支える観点から、収益事業の拡大や管理費等の削減など収益性の高い経営体質に改善していかなければならない。「公益性」を確保するために、収益事業に積極的な意義を見いだす必要がある。

平成19年度 分析表 I (組織分析)

団体名	社団法人 豊島区シルバー人材センター
------------	--------------------

1. 組織体制等

(1) 役職員数(各年度とも4月1日現在)

(2) 職員の年代別構成【平成19年4月1日現在】

【単位:人】

	15年度	16年度	17年度	18年度	
役員					
区四役					
区幹部職員	1	1	1	1	
区議会議員					
区OB	1	2	2	2	
区議会OB					
民間人	20	19	19	19	
小計	22	22	22	22	
常勤職員					
区派遣					
区OB	1	1	1	1	
固有	6	6	5	4	
小計	7	7	6	5	
非常勤職員					
区OB			1	1	
その他	1	1	2	3	
小計	1	1	3	4	
臨時職員					
小計	4	2	5	2	
合計	34	32	32	33	
内訳	男性	26	25	27	23
	女性	6	7	9	10

	50代以上	40代	30代	20代	10代	合計
固有職員	1	2		1		4
区派遣職員						0
区職員OB	1					1
非常勤職員	4					4
臨時職員	2					2
計	8	2	0	1	0	11

(3) 職員の在職年数別構成【平成19年4月1日現在】

【単位:人】

	20年以上	15年以上	10年以上	5年以上	5年未満	合計
固有職員	2	1			1	4
区派遣職員						0
区職員OB					1	1
非常勤職員			1		3	4
臨時職員					2	2
計	2	1	1	0	7	11

※事務局長は「役員」と「常勤職員」の両方に入れている。

2. 給与体系

いずれかにチェックをつけてください。

現在の給与体系	チェック	今後の給与体系	チェック	
1. 独自の給与体系	<input type="checkbox"/>	1. 見直し予定有り	<input type="checkbox"/>	見直し時期(年 月 頃)
2. 区の給与体系準用	<input type="checkbox"/>	2. 見直し予定無し	<input checked="" type="checkbox"/>	
3. その他(都)	<input checked="" type="checkbox"/>	3. 検討中	<input type="checkbox"/>	

3. 経営情報等の公開状況

該当する項目にチェックしてください。(複数回答可)

公開状況	チェック	公開内容	チェック	公開方法	チェック
1. 積極的に公表している	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 貸借対照表	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 事所等に備え付け	<input checked="" type="checkbox"/>
2. 開示請求があれば公開する	<input type="checkbox"/>	2. 損益計算書・収支計算書等	<input checked="" type="checkbox"/>	2. 広報紙やインターネット	<input checked="" type="checkbox"/>
		3. 事業計画書等	<input checked="" type="checkbox"/>	3. 議会に報告	<input type="checkbox"/>
		4. その他()	<input type="checkbox"/>	4. その他()	<input type="checkbox"/>

4. 定性指標

「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでチェックしてください。

	評価項目	チェック	
		はい	いいえ
計画性	1. 経営者の経営理念や目標は、設立目的に基づき策定していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2. 経営者の経営理念や目標は、役員・職員に周知徹底されていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3. 経営者の経営理念や目標に基づき、中長期計画を策定していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4. 中長期計画に数値目標が含まれていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5. 外部環境の変化等により、中長期計画を見直すシステムはありますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
成果志向性	1. 中長期計画に基づいて、年度別の実施計画を策定していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2. 中長期計画の見直しにより、年度ごとの実施計画を見直すシステムはありますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3. 年次計画と年次実績との乖離の分析結果を次年度以降の計画に反映していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4. 実施計画に数値目標が含まれていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5. 目標の達成度(成果)を分析していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
組織の健全性	1. 職員の能力を引き出すような研修を行っていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2. 管理職を対象とした研修を行っていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3. 経営上の重要な決定は、理事会等の決議によりなされていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4. 監査の指摘事項について、改善策を実施していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	1. 事務処理の問題点の把握や原因分析を行っていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2. 把握された問題点に対する改善を行っていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3. 管理費削減のための工夫を行っていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4. 効率的・効果的な事務執行のために外部委託を導入していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5. 業務委託や物品の購入のコスト低減のために入札方法や契約方法を工夫していますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6. 業務委託の場合、取引相手先の見直しを行っていますか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	計画性	成果志向性	組織の健全性	効率性
団体の考え方	平成18年度から22年度までを期間とする発展計画に基づき年度ごとの目標を定めている。 職員個人にも個人目標を設定させ、会長・事務局長との3者面談を行い、当年度の計画について話し合う。	年度当初に設定した目標の達成度を分析し、次年度以降の計画に反映させていく。 目標達成度を基に年度末に再度3者面談を行い、今年度の反省と次年度への改善点を話し合う。	経営上の重要な事項は、毎年(年12回)理事会を開催し、決定報告している。 職員の研修を随時行い、モラル向上に努めている。 監査報告の指摘事項については、即改善している。	月1回職員会議を開催し、常に事務処理の問題点を把握しあい、改善を行っている。 改善点は、会報に載せ会員に周知徹底している。

直近の経営改善計画に対する進捗状況

時代の変化に対応するジルバー人材センターを旨し発展計画(平成18年～22年)を策定。

平成18年度(初年度)

○会費の改定等による経営の改善。

○チラシのポスティング等による会員の募集と就業開拓

平成19年度 分析表Ⅱ (事業分析)

社団法人 豊島区シルバー人材センター

団体名

1. 事業概要

事業名	事業内容	どちらかを選んでチェック		指標名	指標内容	単位	過去の実績			目標		18年度事業量		設立目的と事業の関連性 についての団体の考え方	事業の 順位	
		事業区分	指標区分				16年度	17年度	18年度	目標値	年度	事業費(単位:千円)	従事職員数(の数を1位)			
1		<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受	<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標	会員数	年度末会員数	人	1,412	1,362	1,316	1,570	19		0.0			
2		<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標	受託件数	年間延べ受託件数	件	7,483	7,801	8,086	前年度 以上	19		0.0			
3		<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標	就業率	会員数÷就業者数	%	78.9	78.7	80.9	80.0	19		0.0			
4		<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標	受託契約金額	公共事業・民間事業 受託契約金額	千円	737,399	702,215	696,673	702,360	19		0.0			
5		<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標	配分金	会員に対する配分金	千円	676,072	646,142	638,572	前年度 以上	19		0.0			
6	「シルバー人材としま」の 発行	<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標	広報紙発行 回数	シルバー人材センター としま発行 毎月	回	12	12	12	前年度 以上	19		0.0			
7	新人会員向けの講座	<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標	新人会員研 修開催回数	年12回(毎月)	回	12	12	12	前年度 以上	19		0.0			
8	パソコン教室	<input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標	パソコン教室 参加実人員	月～土	人	112	614	735	500	19		0.0			
9		<input type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	<input type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標											0.0		
10		<input type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 受託	<input type="checkbox"/> 活動指標 <input type="checkbox"/> 成果指標											0.0		

2. 委託状況

【単位：千円】

	上段：事業名		委託の内容及び理由	上段：18年度事業費(a)	
	下段：委託先			下段：18年度委託費(b)	
1				#DIV/0!	(b/a) %
2				#DIV/0!	(b/a) %
3				#DIV/0!	(b/a) %
4				#DIV/0!	(b/a) %
5				#DIV/0!	(b/a) %

3. 前年度の取り組みについて(事業の成果をあげるために工夫した点や反省点を記入)

- ①未就業会員にセンター会報、就業情報を送付し就業参加を促す。
- ②常に健康に留意して、かつ安全就業を心がけての就業を促す。
- ③チラシ等による事業開拓・会員募集(理事・新入会員・職員・ボランティア会員によるポスティング等の実施)

4. 今年度の取り組みについて(上記3を踏まえて、今年度重点的に実施したいと考えている事業内容とその取り組み方法等を記入)

事業内容	事業の拡大
取り組み方法等	<ul style="list-style-type: none"> ○発展計画に基づき、会員増強はもとよりパンフレット、リーフレット等の配布により、地域密着型の受注の拡大を行い、充実した成果を残すように努力する。 ○幅広い受注のニーズに対応できる会員の確保。

平成19年度 分析表Ⅲ(財務分析)

団体名	社団法人 豊島区シルバー人材センター
------------	--------------------

1. 財務状況

【単位:千円未満四捨五入】

収入		16年度	17年度	18年度	
収支計算の概要	基本財産運用収入	ア			
	事業収入	イ	737,399	702,214	696,674
	区からの受託事業収入	ウ	371,842	325,200	269,997
	自主事業等	エ	365,557	377,014	426,677
	内 受益者負担	ア			
	補助金等収入	オ	52,061	51,116	50,850
	区	カ	35,580	35,069	35,070
	区以外	キ	16,481	16,047	15,780
	寄付金収入	ク			
	特定預金取崩収入	ケ	24,500	18,000	74,042
	その他	コ	1,530	1,905	3,847
	当期収入合計	サ	815,490	773,235	825,413
	前期繰越収支差額	シ	32,716	18,321	14,352
	収入合計	ス	848,206	791,556	839,765
支出					
収支計算の概要	事業費(事業費に係る人件費を含む)	セ	708,823	679,736	671,287
	内 区からの受託事業の事業費	ソ	371,842	325,200	250,643
	内 自主事業の事業費	タ	336,981	354,536	420,644
	管理費	チ	90,955	97,422	101,365
	内 管理に係る人件費	ツ	62,177	72,043	66,810
	その他	テ	30,107	46	37,322
	当期支出合計	ト	829,885	777,204	809,974
	当期収支差額	ナ	△ 14,395	△ 3,969	15,439
	次期繰越収支差額	ニ	18,321	14,352	29,791
	資産				
財産状態の概要	流動資産	又	80,510	85,202	99,643
	固定資産	ネ	135,867	117,531	80,147
	内 基本財産	ノ			
	その他の固定資産	ハ	135,867	117,531	80,147
	資産合計	ヒ	216,377	202,733	179,790
負債					
財産状態の概要	流動負債	フ	62,188	70,849	69,852
	固定負債	ヘ	28,000	25,000	20,000
	負債合計	ホ	90,188	95,849	89,852
正味財産(純資産)					
	正味財産(純資産)合計	マ	126,190	106,883	89,938

2. 財務分析比率表

【単位:千円 %(小数点第1位)】

比率の名称	算式	16年度	17年度	18年度
健全性				
総人件費 (千円)		62,177	72,043	66,809
管理費比率	管理費チ/当期支出合計ト	11.0%	12.5%	12.5%
人件費比率(1)	総人件費/当期支出合計ト	7.5%	9.3%	8.2%
人件費比率(2)	(管理に係る)人件費ツ/管理費チ	68.4%	73.9%	65.9%
基本財産運用収入率	基本財産運用収入額ア/基本財産ノ (※流動資産の基本財産で算出)	-	-	-
自立性				
全事業に占める区受託事業の割合	区受託事業の事業費ソ/事業費セ	52.5%	47.8%	37.3%
当期収入合計に占める区補助金割合	区補助金収入カ/当期収入合計サ	4.4%	4.5%	4.2%
正味財産構成比率	正味財産マ/(負債合計ホ+正味財産マ)	58.3%	52.7%	44.4%
収益性				
収益事業比率	収益事業の事業費/全事業費			
資産回転率	当期収入合計サ/資産合計ヒ 【単位:回】	3.8	3.8	4.6
職員一人当たり事業収入	事業収入イ/総職員数(役員を除く) 【単位:千円】	73,740	50,158	63,334

3. 受益者負担比率

【単位:%、小数点第1位】

	16年度	17年度	18年度
受益者負担(A)/自主事業費(タ) =	0.0%	0.0%	0.0%